港北区少年野球連盟 審判部

2025/12/6（土）
18:00～19:30
港北公会堂 2F 第1会議室

令和７年度 第３回審判部勉強会

【議　題】

1. 令和６年度公認審判受講者からの受講報告
   ①安藤さん（太尾）、②松本さん（新吉田）、③荻原さん（篠原）、④笹本さん（日吉）、⑤大澤さん（師岡）、⑥沢田さん（新羽）、⑦岡部さん（大曽根）、⑧駒井さん（宮前）の８名

2. 市学童部審判委員会（11/8）報告

3. 来年度運営要項改訂について

4. 各チームから今年度審判判定実例・質問等について

5. ハラスメント講習会（11/29）について

6. 審判メカニクス（審判の動き）の再確認

7. その他

以上

2025/09/27

横浜市学童野球連盟 大会規定

1　大会適用規則

『公認野球規則』(最新版)、『競技者必携』((財)全日本軟式野球連盟)及び「大会特別規則」を適用する。

2　打順表の提出と攻守の決定

（1）試合会場到着後、本部にて受付を済ませ速やかに登録選手すべてを記載した打順表３通（控え選手を含む全ての名に必ずふりがなを付すこと）提出のこと。登録原簿との照合を受けた後に、審判員立ち会いのもとに攻守を決定する。（前の試合４回終了もしくは終了 30 分前を目途に行う）

（2）大会参加申込書提出（監督主将会議）後、選手の変更・追加及び背番号の変更は認められない。

（3）試合中ベンチに入りできるのは、次の通りあらかじめ大会参加申込書に記載された人員とする。

代表者１名、監督１名、コーチ２名以内、スコアラー１名、マネージャー１名、選手 10 名以上 20 名以内（各区対抗選抜大会は 25 名以内）とする。

尚、試合前申告により「給水係り」のベンチ入りを認める。ベンチ入り条件は後述。

選手以外のベンチ入り資格者は、成人とする。

（4）遅れるか、10 名人数が揃わないか、その他の理由で試合開始時刻になっても試合のできる状態を、

とれないチームは、原則として棄権とみなす。

（注）前の試合が早めに終了したとき、次の試合開始予定時刻前でも試合を開始する場合がある。

（5）ベンチは、組み合わせ番号の若い方を１塁側とする。

3　大会特別規則

（1）試合は６回戦とする。ただし、試合開始後１時間 30 分を経過した場合は正式試合となり、新しいイニングに入らない。同点で終了したときは、抽選により勝敗を決定する。

但し、大会運営上、準決勝戦以上はタイブレークを行なう場合もある。

（2）試合が６回を終了して同点時に、試合開始後１時間 30 分を経過していないときは、タイブレーク（条件付）を行なう。

（3）タイブレーク

継続打順とし、前回の最終打者を１塁走者とし、２塁の走者は順次前の打者とし（投手・捕手は除いてもよい）無死１・２塁の状態にして１イニングを行ない、得点の多いチームを勝ちとする。

タイブレーク１イニングで勝敗が決しない場合、１時間 30 分以内ならば２イニングまで行なう。

尚、同点の場合は抽選により勝敗を決定する。

（4）降雨その他の理由による正式試合（コールドゲーム）となる回数を５回とする。

（5）得点差によるコールドゲームは３回以降 10 点差、５回以降７点差とする。

（6）特別継続試合

試合が１回以降５回以前に中止になった場合（ノーゲーム）、又は５回を過ぎ正式試合となって同点の場合（タイゲーム）でも再試合にしないで、後日特別継続試合として、元の試合の中断された個所から再開する。

両チームの出場選手と打撃順は試合が中断された時と全く同一でなければならない。

但し、規則によって認められる交代は許される。

また、中断前の試合に出場して、他のプレーヤーと交代しその試合から退いたプレーヤーは、再開される試合に出場できない。投手の投球数は、元の試合で投じた球数を引き継ぎ、70 球制限を適用する。

中断前後の試合と通算して１時間 30 分を経過したら、新しいイニングに入らない。

（7）監督に限り、グラウンドに出て交代等の指示などをすることができる。

但し、インプレー中にベンチからむやみに出ての指示は慎むこと。

（8）ルール適用等の抗議できる者は、監督と当該プレーヤーとする。

（9）公認野球規則 5.10（d）［原注］の前段の規定は適用しない。

したがって、投手の守備位置の交代は自由である。

(10) ピッチクロックは採用しない。

(11) 投手の投球数制限

１試合の一人の投手が投球できる投球数を「７０」球とする。

運用については全日本野球連盟の指針および競技者必携「2. 競技に関する連盟特別規則　7 学童部の投球数制限について」の規則を適用とする。

(12) 頭部死球があった場合、状況の如何にかかわらず臨時の代走（コーティシーランナー）を適用する。死球を受けた打者は１塁に触塁することなくベンチで治療・休息をとる。コーティシーランナーは前位の打者とし、投手及び捕手は除いてよい。

尚、走者に送球等が当たり、治療・休憩が必要と審判が判断した場合、同様の適用とする。

(13) 「給水係り」の条件

①選手保護者２名以内とする。

但し、女性１名含む。

②神奈川県野球連盟推奨の専用ビブス及びチーム帽を着用のこと。

※スポーツ活動に相応しい服装・シューズ着用を心掛けること。尚、ベンチ内の役割は選手の体調保全に努め、スマホ等での撮影やスコアブック記入等の行為は行わないこと。

4　用具・装具

（1）用具

（イ）使用球

大会使用球は、連盟公認のＪ号ボールとし、大会本部で用意する。

（ロ）ユニフォーム

ユニフォーム、アンダーシャツ等は同色、同形、同意匠のものを使用する（必ずストッキング、アンダーストッキングを着用すること）。但し、各区対抗選抜大会は、この限りではない。

（各所属チームそれぞれのユニフォームにて参加を認める）

尚、エクストラパンツのユニフォームは禁止する。

（ハ）バット

① 金属・ハイコンバット（複合バット）は、連盟公認（ＪＳＢＢ）のものに限る。
但し、打撃部にウレタン及びスポンジ等が素材となる弾性体を取り付けたバットは使用禁止とする。

② 球場内に素振り用パイプ・リングを持ち込まないこと。

③ 試合中、ノックバットはベンチ外に出すこと。

（2）装具

（イ）ヘルメット

① 打者、次打者、走者、ベースコーチ及びバットボーイ、ボールボーイまたはバットガール、ボールガールは、両側にイヤーフラップおよび安全マーク（ＳＧ）のついた連盟公認（ＪＳＢＢ）のものを着用すること。

② 捕手は安全マーク（ＳＧ）のついた連盟公認（ＪＳＢＢ）捕手用ヘルメットを着用すること。

（ロ）マスク

安全マーク（ＳＧ)のついた連盟公認（ＪＳＢＢ）のものを使用すること。

尚、頸部防護用のスロートガードを装着していないマスクは使用できない。

（ハ）レガーズ・プロテクター・ファールカップ

捕手はレガーズ・プロテクター・ファールカップを着用すること。

ファールカップは、攻守を決める際に持参しチェックを受けること。

（ニ）サングラス

サングラス使用は、本部の承認なしに使用できる。但し、ミラーレンズは除く。

5　試合のスピードアップに関する事項

（1）攻守交代は出来るだけ迅速に行うこと。ボールは投手板近くに置いて交代すること。

第３アウトが成立したら、守備側の選手は素早くベンチを離れ、守備位置に向かうこと。

特に、バッテリーは、準備投球があるから率先してベンチから出ること。

（2）各回の先頭打者と、次打者及びベースコーチは、ミーティングに参加しないで、直ちに所定の位置につくこと。

（3）捕手は、投球を受けたらその場から投手に返球すること。

（4）投手は、捕手の返球を受けたら、直ちに投手板について投球姿勢をとること。

（5）打者は速やかに打者席に入って打撃姿勢をとること。

（6）次打者は、次打者席で低い姿勢で待機すること。投手も必ず実行すること。

（7）打者は、打者席内でサインを見ること。

（8）野手が負傷などで治療が長引く場合及び頭部等に打球や送球が当たって、安静を要すると判断された場合等は、速やかに交代させることが望ましい。

6　その他

（1）ファールボールは、１塁側のものは１塁側ベンチ、３塁側のものは３塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側で処理すること。

（2）試合終了後は速やかにグラウンド整備を行なうこと。

※グランド整備は、試合中のベンチ内指導者とし、ユニフォーム着用者が率先すること。

（3）球場（公園内）では、無用なトラブルを起こさないよう大会本部の指示に従い言動に注意すること。

（4）監督・主将会議で決められた事項は、チーム全員に必ず徹底させること。

（5）球場内ではトスバッティング、フリーバッティング及びバント練習は許されない。

グランド内での練習時、選手とコーチのキャッチボールは禁止する。

（6）試合開始、終了の挨拶時には、代表者・監督・コーチ・スコアラー・マネージャーも自軍ベンチ前に整列し、あわせて挨拶すること。

（7）準決勝で勝利したチームは、グラウンド内で第３位の表彰式に参加すること。

（8）電子機器類（スマホ・パソコン等）のベンチ内使用を禁止する。

【令和７年９月２７日改訂】

横浜市学童野球連盟大会に関する注意事項

大会規定も含め、指導者、選手、応援者等に徹底させること

(1) 選手

- グローブからの指出しを禁止する。（但し、指出し用カバーのついたグローブは認める）
- 投球練習のときに、捕手はマスク・ヘルメット・プロテクター・レガーズ・ファールカップを着用すること。
- 投手は手首へのサポーター、リストバンドの使用を禁止する。負傷により包帯等が必要なときは、試合前に大会本部の承認を得ること。
- ベンチ前にグローブ、バット、ヘルメット等の用具を置かないこと。
- 次の試合の投球練習は、攻守決定後とする（バッテリー１組とする）。危険防止のため、指導者を１名配置する。簡易ホームベースの持ち込みは差し支えないが、投手板の持ち込みは認めない。（指導者は子供の安全確保に徹し、投球指導は行わないこと）
- 打者は投球練習中ネクスト・バッタースボックスで待機すること。
- 打者走者の１塁へのヘッドスライディングは禁止する。

(2) 指導者

- 監督、コーチ以外もチーム帽を着用し、スポーツの出来る服装とすること（但し、ユニフォームの着用は認めない）。半ズボン、スカート、革靴は認めない。
- グラウンド周辺での練習（ランニング等）を行わせる場合、周辺住民や他の競技の邪魔にならないよう充分配慮し、無用なトラブルを避けること。
- 球場外でのバットの使用（選手も含む）を禁止する。
- メンバー表は主将会議時配布の指定用紙（ケンコーボール製）にて本部へ３部提出すること。
- 監督、コーチのユニフォーム（ストッキング、アンダーストッキングも含む）は、選手と同一とすること。
- 指導者等は、試合中グラウンド外へ出た場合は再入場を認めない。
- 監督が不在の時は、代理監督（コーチ 29 又は 28）が大会本部へ報告すること。
- 選手に対して怒声・罵声を浴びせることは厳に禁止する。
- 相手選手のプレーを惑わす言動は禁止する。

(3) 応援者

- 野次など目に余る行為があったときは、当人に厳重注意するとともに当該チームの監督を退場させる場合もある。
- バックネット裏でのビデオ・写真の撮影や観戦は禁止する。
- ゴミは持ち帰ること。また喫煙は会場（公園）のルールに従いマナーを守ること。

(4) その他

- シートノックは、原則として第一試合のみ５分間行う。
  内・外野２ヶ所でのノックを認める。内野手を越えてのノックは認めない。
  内・外野ともに補助員はヘルメットを着用すること。コーチのノック補助を認める。
  （シートノックの時間が短いので指示に従い速やかに行うこと）
- 試合前、練習時のノックを認める（ただし、２面試合会場は第一試合のみ認める）。
- 試合前、外野での素振りを認める。
  安全には十二分に配慮し必ず指導者の監視下にて行うこと。
  （選手はヘルメットを着用しファールラインに沿って充分間隔を空け、整列して行うこと）
  ただし、大会本部の判断によっては出来ない場合がある。
- メガホンの使用はチーム１個とする。

【令和６年２月１０日改訂】

試合会場について

◎台町公園内には駐車場がありません。また行き止まりのため自動車の進入もできません。
◎神ノ木公園内には駐車場がありません。公園入口前での乗降も厳禁です。
◎富岡西公園の駐車場は利用できません。また南側市道での乗降も厳禁です。
◎新横浜公園にてイベント等が開催されている場合は駐車場が満車になりやすいので、早めの移動をお願いします。
◎他の試合会場の場合も必ず大会本部の指示に従って下さい。
◎近隣の住宅の迷惑となるような行為は厳に慎んでください。